



八千代市農業委員会だより



▲ ハウスいっぱいのシクラメン(冬季)



「ポット」タイプ
(⇒ガーデンシクラメン)



「鉢」タイプ



志村 範充さん

志村 昌枝さん

▲ 植え替え作業の時期(夏季)ハウス前にて



佐藤農業委員

八千代市において花き農家は、希少な存在です。
今回は、そんな中でも特に珍しい、島田台地区でシクラメンの栽培をしている志村園芸の志村範充さん、昌枝さんご夫婦にお話を伺いましたので、皆さんにご紹介したいと思います。

▶ 経営に携わっている方は？

【範充さん】 基本は私が主で、あとは父です。忙しくなると、妻と母にも手を貸してもらっている感じですね。



ブライト
スカーレット

▶ 後継者はいますか？

【昌枝さん】 娘は結婚して別世帯ですし、息子はもう会社員になったので（後継者はいない）。



フェアリーピコ

▶ シクラメンの栽培を始めてどのくらいになりますか？

【範充さん】 父が始めてからだと40年近くですかね。自分は、高校を卒業してからすぐに父の手伝いを始めました。

▶ シクラメンの種類はどのくらいありますか？

【範充さん】 全部の品種になると、100以上。自分のところでは、50ちょっとくらいです。やっぱり、温度など環境によって、作りやすいものとそうでないものが出てくるので。



アバニコ



うたげ
宴

☞ シクラメンは、元々は長野県や群馬県などの高原地(気温が低い地域)が産地だそうです。

▶販売方法について教えてください。

【範充さん】 ハウスで直接販売しているのと、市場に出しています。ハウスでは、毎年11月下旬から12月中旬まで販売をしています。

▶良いシクラメンの見分け方はありますか？

【範充さん】 色によって違うので、「こうです。」とは一概に言えないんですね。なので、その都度お客さんに好みなどを聞いて、その人にとっていいものを選ぶようにしています。

参考

インテリアとして楽しむ場合は、置く場所の壁の色を考えて選ぶといいそうですよ！
花の組合せ方など、相談に乗ってくれるそうです。



フレーム



マゼンタ

☞ 志村園芸では、ハウスの中に入って自由に見て選ぶことができます。

▶それぞれの楽しみ方についてアドバイスをください。

① 長く楽しみたい場合

【昌枝さん】 葉数が多くて蕾がついているものを選ぶといいです。

【範充さん】 皆さんに共通して言えることは、ある程度日が当たって風通しのいい（涼しい）ところに置くことと、乾いたら水をあげること。ただ、家の造りによって環境が違うので、個別に相談してもらった方がいいですね。

② 部屋の中で楽しむ場合

【範充さん】 室温が10度から15度ぐらいで、日の当たるところに置くといいです。

③ ガーデニングとして楽しむ場合

【範充さん】 シクラメン自体も色違いで楽しめますし、他の花、例えばパンジーとかと寄せ植えすれば、いろんな花の種類を一度に楽しむことができますよ。

みんな一緒に水をあげればいいので、細かい管理も必要ないですね。



フリオーラ

シクラメンの葉

☞ 周りがギザギザしていて、白っぽい色をしている性質の葉を「シルバーリーフ」といいます。

ハートの形が特徴です。☞



ビクトリア



ライチ

▶今後の展望は？

【昌枝さん】 2人でやっていければいいかなって感じですね。お花を育てるのも嫌いじゃないので。

【範充さん】 作って品物になるのは面白くて好き。生活ができれば、それでいいかな。



(夏季)



近頃は、まだ外出に気を遣わなければならない時ではありますが、様子を見て、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

「令和4年度八千代市農業施策に関する意見書」の提出について

令和3年9月21日、農業委員会から服部友則市長へ「令和4年度八千代市農業施策に関する意見書」を提出しました。



意見書の内容は次のとおりです。

1 遊休農地対策及び担い手の確保について

八千代市では、農業者の高齢化や担い手の不足によって、遊休農地面積が増加傾向にある。令和2年度の遊休農地合計面積は約115・

6ヘクタールであり、令和元年度から約1・7ヘクタールの増加となっている。

多面的機能支払交付金を活用し、事業を実施している桑納、麦丸、保品の3地区では、遊休農地が解消されており、農地保全に対する若手農家の意識づけにも繋がっている。今後、他の地区においても積極的な事業実施が望まれる。

しかし、多くの遊休農地が存在する地区では、解消する人手が不足し、事業実施を諦めざるを得ない状況が生じているため、小規模であっても、制度を活用できるように、積極的な普及に努めていただきたい。

また、八千代市の農業を持続させていくために、将来の担い手を確保することはとても重要である。八千代市への新規就農希望者は増加傾向にあるものの、農業経験や技術の不足により、就農に結びつかない例もあるため、研修先や関係機関との活発な情報共有に取り組み、農業技術習得の支援をお願いしたい。

さらに、新規就農希望者の金銭的なサポートを推進するため、補

助事業活用について積極的な周知、申請書類作成の支援をされた。

2 有害鳥獣及び害虫対策について

市内では鳥獣被害が多く発生し、収量低下や生産意欲の減退に繋がるため、対策は喫緊の課題である。

八千代市特産の梨については、特に鳥類による被害が大きい。被害を最小限に抑えるには、多目的防災網の設置が有効であるが、設置には多額の費用を要し、農家の負担は大きい。県からの補助金があるものの、補助率が低く、不十分であるため、市単独の上乗せ補助を検討されたい。

また、昨年度は水稲にカメムシ類が大量に発生し、大きな被害が出た。植物防疫事業の活用は、害虫防除に欠かせないものであるが、空中散布に係る費用は、大きな農地面積を有する農家には負担となっているため、市からの補助額を増やし、農家負担の軽減を図られたい。

3 人・農地プランの策定について

「人・農地プラン」の実質化は、意欲的な担い手への農地集積の促進に欠かせない。実質化されたプランがなければ、補助事業を活用している、あるいは活用を検討している農業者に大きな影響が出ることもあるため、策定は急務である。

現在公表されている工程表に沿った実質化に向けて、コロナ禍の中でも取組が停滞することがな

例	「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備 支援事業の1/10上乗せ補助(市独自補助) 3,860,000円 ^{※1} ×1/10 ^{※2} =386,000円
	※1 令和3年度の次世代産地整備支援事業費総額。 ※2 補助割合については、芝山町を参考に代入。

いよう、着実に推進されたい。
さらに、農業者と行政による意見交換会等を開催し、農業者との積極的な情報共有に取り組みたい。

4 スマート農業の推進について

今後、栽培管理の省力化や品質の向上等、産地としての競争力を高めていくためには、ドローンや管理システムの導入といったスマート農業の推進が不可欠となる。

県内では、農林水産省のスマート農業実証事業を活用し、自動運転による農耕機械の試験圃場を作るなど、新しい技術の導入を積極的に模索している自治体もある。本市においても、先進技術の導入を目指し、関係機関と連携し、情報収集に努めていただきたい。

令和3年度の目標及び活動計画を策定しました

農業委員会の重点業務である「農地等の利用の最適化」に向

け、目標とその達成のための活動計画を策定し推進しています。

令和3年度の目標及び活動計画の内容は次のとおりです。

【目標】

① 担い手への農地の利用集積・集約化

新規集積面積 10ヘクタール
※管内の農地面積
(令和3年3月現在)
829ヘクタール

② 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

新規経営体数 3経営体

③ 遊休農地に関する措置

解消面積 5ヘクタール
※管内の遊休農地面積
(令和3年3月現在)
115・58ヘクタール

④ 違反転用への適正な対応

※管内の違反転用面積
(令和3年3月現在)
0・39ヘクタール

【活動計画】

① 担い手への農地の利用集積・集約化

・農地台帳調査時に所有農地に対する意向調査を行う。
(12月)

・意向調査を基に利用集積可能な農地を台帳に整備する。
(1月～2月)

・農地の利用集積・集約化を促進するため、農政部門と連携しながら地域の意見集約を図る。

② 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

・新規就農希望者からの相談に随時対応する。

③ 遊休農地に関する措置

・管内全域の農地の巡回調査を一斉に実施（11月利用状況調査・8月～9月）し、遊休農地を把握する。

・利用状況調査の結果、遊休農地と判定された農地の所有者に対し、利用意向調査を行う。
(12月～翌1月)

④ 違反転用への適正な対応

・県及び関係各課合同で違反転用パトロールを実施する。
(8月)

・農業委員会だより等で農業者等へ周知を行う。
(11月及び翌3月)

・定例（毎月）現地調査の際、併せて周辺農地のパトロールを行う。
・違反者に対し、関係部署と連携して改善に向けた活動を行う。

ご存知ですか?『全国農業新聞』

農業のすばらしさを伝えます
プロの農家を支えます
農地を活かし担い手を応援します

購読料は、月額700円(送料・税込み)です。
お申し込みは、農業委員会事務局(☎421-6793)へ。

知っていますか？

農地の権利に関する手続きのこと①



今、農業をしている方の高齢化や後継者が不足していることで、耕作されない農地が増加しています。
農地を適切に管理しないと、病害虫が発生したり有害鳥獣の生息地になってしまったり、不法投棄されるなど、周囲に迷惑をかけるだけでなく、環境にも悪影響を及ぼします。
農地法では、農地の所有者は、農地を適切に管理することが求められています。

でも自分では農業ができないし…
近所で家庭菜園をやりたいって人がいたから貸しちゃおうかな。
それとも貸駐車場にして生活の足しにでもしようか。



待ってください！それ、市や農業委員会の許可を得ていますか？
許可なく、農地を売買・貸借すること、または農地以外のものにすることはできないんです。

では、どのような時、どこへ相談・手続きすればいいのかについて、今回から数回に分けて説明していきたいと思います。
今回は、「**農地を農地のまま利用する目的で売るまたは貸す時**」です。

農地を売りたい時

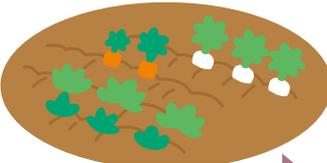
農業委員会に相談・手続きをしてください。

※農地を無償で譲る場合も手続きは必要です。

農地を貸したい時

貸す人



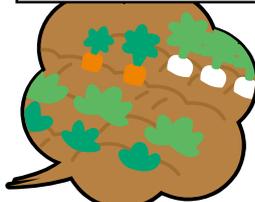


賃貸借権
or
使用貸借権

借りる人



農地として利用



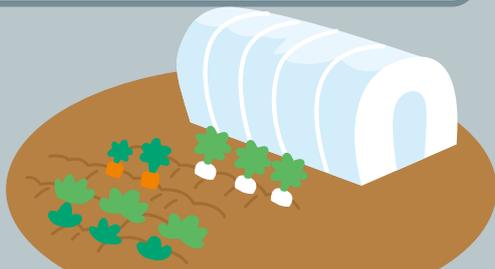
※賃貸借：賃料が発生
使用貸借：無償

農地はどちらの区域にありますか？



A 市街化区域

or



B 市街化調整区域

A

農業委員会に相談・手続をしてください。



B

農業委員会または
農政課に相談・手続をしてください。





買う人・借りる人には、一定の要件があります。(耕作する農地の面積が30アール以上ある、農業を年間150日以上行うこと等)

手続の前に、農業委員及び推進委員、農業委員会事務局または農政課にご相談ください。

【問い合わせ】

農業委員会事務局（市役所6階） ☎421-6793（直通）

農政課（市役所5階） ☎421-6763（直通）

入って得しよう!
農業者年金

自分のために積み立てる年金です!

積み立てたお金は将来どのくらい受け取れる?

※保険料の範囲：2万円～6万7千円

⇒下表を参考にしてください（月々の保険料を上限額の6万7千円※にした場合）

加入年齢	納付期間	保険料 納付総額	年金額(年額)		想定される受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	3,216万円	288万円	242万円	6,191万円	6,544万円
30歳	30年	2,412万円	186万円	156万円	3,990万円	4,217万円
40歳	20年	1,608万円	107万円	90万円	2,298万円	2,429万円
50歳	10年	804万円	46万円	39万円	999万円	1,056万円

想定される受給総額は、**男性86.5歳/女性92.0歳**まで生存した場合で、運用利回りが2.97%^{※1}、65歳以降の予定利率が0.25%^{※2}であった場合の試算額です。（単位未満を四捨五入して表示）

※1 制度発足から令和2年度まで（19年間）の平均値 ※2 農林水産省で決定した令和3年度の数値



このほか、農業者年金には、

- ①死亡するまで受け取れる
- ②もしも**80歳前に死亡した場合は遺族に一時金が支払われる**といった特徴があります。

収入が減少して保険料の支払いが難しい場合も、保険料の**額の変更/途中脱退**が可能なので安心です！
脱退後は**再度加入**することもできます。



さらに

保険料を払っている時にはこんなメリットも！
⇒税金の負担を減らすことができます

課税対象所得額	税率	年間の節税額の目安	
		保険料月額2万円の場合	保険料月額6万7千円の場合
195万円以下	15.1%	3万6千円	12万1千円
195万円超330万円以下	20.2%	4万8千円	16万2千円
330万円超695万円以下	30.4%	7万3千円	24万2千円

「もっといろいろ聞きたい！」などありましたら、お気軽にお電話ください。

【問い合わせ】JA八千代市 ☎450-3711 農業委員会事務局 ☎421-6793(直通)

女性委員のご紹介 2/3



黒崎玲子 農業委員
就任：平成29年度
担当：上高野・下高野地区



黒澤京子 推進委員
就任：令和2年度
担当：佐山・平戸地区

前回では、黒崎玲子委員の就農の経緯について紹介しました。今回は、委員の就任の経緯について紹介します。

前回



(ご家族が多くて)にぎやかでいいですね。でも、酪農に子育てと大変じゃないですか？

黒崎玲子委員の委員就任の経緯



20歳から就農しますが、すぐに子育てが始まったため、

育児、家事、酪農業をこなす日々は、目が回りそうに忙しさでした。長男が就農してくれたお陰で、やっと時間にゆとりがもてるようになりました。



黒崎委員の夫 栄司さん(右)と長男 悠人さん(左)



農業委員になったきっかけは？



農政課主体の農業者との意見交換会があり、そこで、女性目線での意見を発言させてもらいました。その後、農業委員会だよりのリレー随筆のコーナーで紹介してもらったことがきっかけ

かけで、農業委員のお話をいただきました。私としても、農業の役に立ちたいし、少しでも女性目線での意見が反映されればと思い、やらせてくださいとお返事しました。



初めての総会はどうでした？



緊張しましたが、私自身が慕わせてもらっている方が委員の中にいらっしゃったので、心強かったです。あと、以前の意見交換会の時に、私の発言に対して共感してくれた委員の方の存在も非常に有難かったです。



農業委員として、物事を動かしたいとかの希望はあったんですか？

▼続きは次号で

編集後記

農業における労働力不足が深刻な問題となっている現在、農水省では、人手の確保や作業の負担軽減など様々な課題を解決するため、「スマート農業」の生産現場への導入・普及を目指しています。

自動による生育状態に合わせた精密な施肥や除草、水稲での自動水位管理、野菜の自動収穫など、AI等の先端技術を活用する農業の姿の変化に驚いています。

本誌をご愛読の皆様の中にも、新しいシステムを取り入れていくなどの情報がありましたら、ご一報ください。

(広報副委員長 稲垣 哲也)

令和3年11月発行
第47号

発行 八千代市農業委員会
編集 広報委員会

〒276-8501
八千代市大和田新田312-5
電話047(421)6793
URL <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/500500/index.html>